

岡山県社会福祉

おかやまけんしゃかいふくし

2020

春

No.640



特集インタビュー | 発達障害と共に生きる

CONTENTS

社会福祉法人の公益的な取組レポート	4
被災地に寄り添う	5
現場からの発信	6
県社協ニュース	8
赤い羽根共同募金	11
「ふくし」の仕事人たち	12



社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
URL : <http://www.fukushiokayama.or.jp>
Facebook : <https://facebook.com/fukushiokayama/>





発達障害と 共に生きる



近年注目されている「発達障害」。外見からは分かりづらく、その症状や困りごとは千差万別です。今号では、「発達障害」を抱えながら地域で暮らす当事者の方へのインタビューを通じて、地域共生社会の実現に向けて考えたいと思います。ご自身も障害を持ち、現在、当事者会「どろだんごの会」代表をされている瑠璃真依子さんにお聞きしました。

トは回答がずれてしまうという状況で大学に進学できたのは、先生から勧められた数学検定や大学での講義履修等を経験したからだと思います。

—その後、実際に中学校での数学の先生を2年間経験するも、休職を経て退職。現在は2児の母親として子育てもされていますが、いかがですか？

子どもを持ったことで、自分ではよく分からないけれど、周りからは「変わったね。」と言われるようになりました。私としては、子どもがいようがいまいが、何をするにもみんなより時間はかかるし、ちよつとできるようになって戻ることもあるけれど、色んな経験をすることで日々ちよつとずつ成長していると思っています。

—現在、倉敷市内で発達障害当事者会「どろだんごの会」の代表をされていますが、きっかけと活動内容を教えてください。

診断を受けた時の「私のことを誰も分かってくれない」というモヤモヤした気持ちがあきつかけの一つです。「どろだんご」とは、一つひとつ色も大きさも異なるけれど、磨けば必ずピカピカに光り、崩れても壊れても何度でもつくり直せる、そんなふうに障害も一つの個性と捉え、一人ひとりが輝ける世の中になってほしい、と

—社会人になってから発達障害の診断を受けられた、とのことですが、どんな学生時代だったのですか。

学校に行くのが嫌で、どうやって休もうか常に考えていました。やることある授業中はまだマシで、休憩時間が特に苦痛でした。何をしていたいかわからず、職員室や保健室で時間を潰していました。信頼できる先生に出会えたこと

もあり、中学校の卒業アルバムに「将来の夢は学校の先生」と書きました。高校に入ると学校に通えなくなり、「生きる意味」を感じることでできず、リストカットをすることもありました。それでも続けられたのは、「先生になりたい」という夢があったから。自分の中でいつかは大学へ行って先生になるという目標ができていました。ただ、数学以外の教科は出来ずマークシ



瑠璃さんと木村校長

現在の勤務先、岡山高等学院で木村校長と
同席でお話を伺いました。木村校長はやり
始めると無茶をする瑠璃さんのストッパー
の役目も担っています。長く関わるには支
援者という立場ではなく仲間として付き合
うというスタンスを大事にしているそうで
す。それは瑠璃さんの子育てにも影響を与
え、親子であっても人と人との関係を大切
にし、面白がったり一緒にパニックになっ
たりしながら、抱え込まずみんな子育て
をしながらい日々成長しています。

いう想いを込めています。

月に1回、10代から60代までの当事者の方が
20名ほど集まって茶話会をしています。悩みや
状況は一人ひとり違いますが、体験や心情を分
かち合ったり、情報交換をしたりしながら自分
たちで解決するセルフサポートの場になってい
ます。いつ来てもいつ帰ってもいいし、しんど
い状態で来て寝転がっている人もいます。安心
して、ありのままの自分でいられる場所です。

私は、代表と言っても同じ当事者でもあり、
視野が狭く、その辺でトラブルが起きていても
把握できていなかったり、相手の話を聴いても
状況が理解できなかったりすることもあります。
そんな時、支援者の方がそつとサポートしてく
れることもあります。この会はあくまで当事者
が主体だけれど、色んな人が考えるきっかけに
なればと、支援者や保護者など色んな人に来て
もらっています。大勢で何かをやるのが苦手
な私ですが、できないときに「これ、お願い。」
と言うことで、助けてくれる人がいるからやっ
ていけていると思います。今後も無理せずこの
会は続けていくつもりです。実際、岡山県内で
オープンにしている当事者の会は2か所しかな
く、もつと色々な場ができることで、居場所と
して選択肢が増えたら良いな、と思っています。

読者に向けて、メッセージをお願いします。

「困った。」「手伝って。」と声を上げることは

恥ずかしいことではありません。みんな何で
も自分でやらないといけな思いますが、
もつと人を頼っていいと思います。障害の診断
があっても無くても、人間苦手なことは絶対に
あるし、しんどい時や困った時に「助けて」が
もつと言え社会になればいいと思います。一
番良くないのが抱え込むこと。ちよつと勇気を
出して相談したら違う視点からアドバイスがも
られます。たくさんヘルプを出して、そのなか
ら自分に合うものを選べばいいんです。そして、
周りの人は一緒に考えてほしいです。「そうだ
ね。」の共感で終わるのではなく、「じゃあ、ど
うする?」「こうする方法もあるよ。」というよ
うな具体策をくれて自分で選ばせてくれるよう
な支援が助かります。そして、やってみて失敗
しても「次はこうしてみる?」と一緒に考えて
くださると嬉しいですよ。

Profile

発達障害当事者会
「どろだんごの会」代表

瑠璃 真依子 さん

自閉症スペクトラム障害
注意欠陥多動性障害 当事者
岡山大学理学部数学科卒業。その後、公
立中学校教員として2年間勤務。その後、
休職を経て、岡山高等学院で講師をして
いる。また、当事者の声を伝えるため、
岡山を中心に講演活動をしている。
著書「どろだんご」「どろだんご2」

地域共生社会の実現に向けて!

● 社会福祉法人の公益的な取組レポート ●

さくら福祉ネット 宿場町やかげ

矢掛町社会福祉法人連絡会 設立!



❖ こどもの見守り活動実施中 地域の各種団体と共に、出来ることを生かして

▼ 社会福祉法人連絡会の設立について

去る2月26日に町内の高齢者・障がい者施設を運営する社会福祉法人と矢掛町社会福祉協議会（5法人）が中心となり同連絡会が設立されました。各法人施設・事業所では、これまでに「ゴミ屋敷清掃への協力」や「地域の高齢者への配食サービス」等、独自で貢献活動も実施されてきましたが、地域共生社会の実現に向けて、もっと地域に貢献したいという思いから勉強会を重ね、アイデアを出し合うなかで「こども見守り活動」の実施に至りました。

▼ こどもの見守り活動（登下校時の安全確保） ～学校、教育委員会、警察署等との連携

事業所の送迎車に「さくら福祉ネット 宿場町やかげ」のマグネットシートをつけ、町民、子どもたちにもわかりやすくして、日頃の送迎業務に併せて登下校時の見守りを行います。万一異変を発見した際には学校、教育委員会等関係機関へ早期に通報・連絡します。



「こども見守り中」マグネットシート、岡山県協の地域公益活動助成金でつくりました。



連絡会の皆さん。あすなる園、矢掛荘、ほほえみ矢掛、ワークハウス住倉・横谷、矢掛町社協



こども見守り活動出発式。マグネットシートを送迎車につけて子どもたちにわかりやすくしています。

❖ 制度の狭間で助けを求めている方のニーズに寄り添う



矢掛町社会福祉法人連絡会 事務局
矢掛町社会福祉協議会
事務局長 三宅 収氏

連絡会設立により多様な専門性やノウハウ、資源を持つ福祉施設・事業所との顔の見えるつながりが出来たことが大きいです。今後、町内の他福祉施設にも加入を呼びかけていきます。

制度の狭間で助けを求めている方々のニーズを重要視し、行政や地域だけでは解決できない問題に取り組むのが社会福祉法人です。今後の連絡会に期待してください。



矢掛町社会福祉法人連絡会 代表
社会福祉法人 あすなる園
施設長 岡本達也氏

お問い合わせ

矢掛町社会福祉法人連絡会（さくら福祉ネット 宿場町やかげ）

▶ 事務局：矢掛町社会福祉協議会（矢掛町農村環境改善センター内） ☎ 0866 (82) 0848

被災しても「故郷」へ帰れるように。 真備町から発信する、 防災の家。



津田 由起子さん 「ぶどうの家まび」(倉敷市真備町箭田1179-6)

平成30年7月豪雨で倉敷市は真備を中心
に大きな被害を受け、多くの方が亡くなら
れました。直接の犠牲者は約50名、うち8
割以上が、住宅の1階で発見されました。
多数が、自力での避難が困難な高齢者だつ
たと報告されています。

「ぶどうの家まび」の津田由起子さんは、
介護保険制度が始まる前から、現在の小規
模多機能事業所の前身となる事業所を立ち
あげ、活動してこられました。今回の豪雨
で、その施設も被災。津田さんは、約4か
月間、利用者ら地域のみなさんと共に避難
所生活を送りました。

そのような経験の中で、津田さんは、専
門家の方や地域のみなさんと被災後も自宅
や地域に安心して戻ることができるとしくみ
を作ろうと「サツキPROJECT」を発
足しました。まず、「避難機能付きの共同
住宅」の実現を目指し、被災アパートを借
り、準備に奔走されています。

この住宅は、1階は居住部分、2階は居
住部分と共有部分を備え、災害時には近隣
住民も避難ができるように設計、高齢者と
若い世帯が同じ建物に入居することで「日
頃から住民同士が支え合う暮らし」ができ
るように考えています。

この新しい住居モデルの実現のために、
クラウドファンディングを実施し、多くの

方の共感を得て、目標金額の200万円を
達成しました。また、国の補助金事業スマ
ートウェルネスにも応募、リフォーム資金
の補助も決定しました。

「この挑戦で、多くの方に真備のことを
知ってもらえ、たくさんのご支援と勇気を
もらいました。これからも真備で、地域の
声に応えて活動をしていきたいですね。」
と津田さん。

設立当初からの理念「目の前のその人を
支える。在宅にこだわる。どんな風に暮ら
したいのか一緒に考え、楽しむ。自分たち
の都合で投げ出さない。」は今も変わらず、
津田さんは、真備の元気と復興を支えてお
られます。



多くの方が集い、応援されています。



「制度の狭間の課題に向き合う」既存の制度では行き届かない支援を模索し、「狭間」に光を当てる取り組みと、その実践者を紹介します！

精神疾患・障害がある方への居住支援

～三位一体のワンストップサービス～



住宅支援部 部長代理 笹野さん

居宅事業本部 中四国支店 支店長／看護師 小山さん

地域医療連携部 部長 精神保健福祉士 岡本さん

株式会社N・フィールド／
訪問看護ステーション デューン岡山

事業の根幹にある想い

「事業の概要や法人の成り立ちについて教えてください。」

笹野さん 当社では「医療、住居、生活」という三点から、それぞれの部門に特化した部署・職種が連携して、医療が必要な方の在宅生活をサポートしています。中でも精神科訪問看護が事業の起点になっており、住宅確保が困難な方への支援に特化していくようになりました。

小山さん 元々精神科病院に勤めていた看護師が「社会的入院からなかなか抜け出せない患者様の在宅生活を、地域でサポートしていく必要がある」という想いから2003年に立ち上げた法人です。

賃貸契約から入居に至るまで

「具体的にはどのようなサポートを行っているのですか？」

笹野さん 病状、経済状況、保証人が立てられない等の背景から、不動産の契約が難しい方に対して、まずは当社が物件オーナー様との契約で物件を借り、その物件について当社とご本人でさらに契約を結ぶというサブリース（転賃借契約）の形で住居の確保を支援しています。

「契約までの流れを教えてください。」

笹野さん 病院や地域の支援機関等から相談を受け、まずはご本人と面談をし、状況の確認や、物件の希望等をお聞きします。その後物件を調整するのですが、物件オーナー様との交渉は困難を極めることが多いです。

「家賃保証、近隣トラブル等、色々」と心配な点は考えられますよね。

笹野さん 家賃については、当社がオーナー様へ一旦支払うこととなりますので金銭的な不安はそれほど無いと思われるのですが、近隣トラブル等を気にされるオーナー様は多いです。そこで、訪問看護による医療的支援や生活状況の見守りを行うことで、不安を払拭できるように努めています。

ワンストップで暮らしを支える

「入居後のご本人への関わりは、どのような形で行われるのですか？」

小山さん 住宅支援部や精神保健福祉士（以下、PSW）と連携しながら定期的に訪問し体調・服薬管理、困りごとの相談、対人スキル向上に向けたはたらきかけ等を行っています。



入居者の作業所見学に同行する、スタッフの高原さん（PSW）

岡本さん PSWが訪問看護ステーションで看護師と協働して支援

をするという形は全国的にも未だ少ない現状があると思うのですが、訪問看護だけでは支援が難しい部分、例えば家族間の問題への介入、就労支援、障害年金の申請など、ソーシャルワーカーの立場からフォローさせていただきます。

「居所確保の支援、医療的な支援だけでなく生活全般についても考え、支援につなげていただけるのは、ご本人にとっても心強いですね。」

岡本さん 生きづらさを抱えている人にとっては「どこに相談すればいいのか分からない」という方も多いと思うのですが、看護師に相談すればPSWへ、PSWから他機関へといった形で、相談窓口が増え、支援につながりやすくなる。これによりその方の社会参加の場面が広がり、再入院を防げているという実感があります。



インタビュー時のチームワークもばっちりな皆さん

小山さん 私たち看護師も日々の関わりの中で「生活」という視点は意識しており、例えば「掃除が苦手です」と言う方にはヘルパーの利用、「日中の時間を持て余している」という方には作業所の利用を提案したりします。看護師の視点だけでは不十分な時にはPSWへ相談し、アセスメントや具体的な情報提供・サービス調整等を行ってもらいます。

岡本さん 私たちが継続的に支援に関わらせていただく中でも、看護

師との情報共有は大切です。日々の訪問が継続しているからこそ、活きた情報だと思えるので。

小山さん 住居の困りごとの際は住宅支援部に相談しています。例えば「電球を自分で交換できない」等、相談内容は生活全般、多岐に渡ります。

—まさに三位一体で、生活を細やかに支援されているんですね。

笹野さん もちろん他機関との連携も大切に行っています。

小山さん 普段の関わりの中での気付きについては、内部でもそうですが、他機関の方々へも密な情報共有を心がけています。

今後の展望／それぞれの視点から

—課題や、今後の展望等について教えてください。

小山さん その方が地域での生活に定着できるようなサポートが継続できれば、と思っています。そのためには医療だけではなく、色々な相談事に対応できる必要がある。住宅支援部、PSW等多職種で関わっている強みを活かしていきたいです。

岡本さん 色々な分野の関係機関とのネットワークづくりも重要ですね。また、精神疾患がある方について

は怖さや何らかの偏見を抱いている方も多いと思います。そういったイメージが払拭できなければ支援が行き届きにくくなってしまふ。疾患や障害がある方と、地域の方がふれあい、相互理解が深まるような交流の機会がもつと増えていけばいいなと思います。

笹野さん 確かに、疾患や障害がある方が地域で生活することに、理解が十分に得られていない現状はまだあります。一方で契約された方が近隣の方と良い関係を築いて、という嬉しい声をお聞きすることもあるんです。物件オーナー様や近隣住民の方の不安を軽減し、理解を深めていただくためにも今後、お一人おひとりの入居からその後の暮らしまで、チームで支えていきたいです。

【お問い合わせ先】

株式会社N・ワールド

住宅支援部 岡山営業所

TEL: 086-953-4580

FAX: 086-953-4581

■訪問看護ステーション

デューン岡山

TEL: 086-953-4571

FAX: 086-953-4572

※対象エリア等については、

お問い合わせの上で確認ください

不動産の無料相談会を県下5か所で開催中

岡山地区

毎月第1～4水曜日
午前10時～午後3時まで
会場：岡山県宅建会館

津山地区

毎月第2金曜日
午前10時～午後3時まで
会場：津山宅建会館

倉敷地区

毎月第1・3金曜日
午前10時～午後3時まで
会場：倉敷市役所本庁舎西側分室1階

総社地区

偶数月の第2木曜日
午前10時～午後3時まで
会場：総社市役所

笠岡地区

奇数月の第2木曜日
午前10時～午後3時まで
会場：笠岡市役所

お問い合わせ先



公益社団法人 岡山県地建物取引業協会
公益社団法人 全国宅地建物取引業保証協会岡山本部
〒700-0023 岡山市北区駅前町 2-5-28
TEL: 086-222-2131



※お電話でのご相談は受け付けておりません。





ご寄付ありがとうございます



平成31年4月～令和2年3月までにご寄付をいただいた皆様です。本会事業推進に有効に活用させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

【一般】

株式会社アミパラ 様
公益社団法人生命保険ファイナンシャル
アドバイザー協会 岡山県協会 様
フクシマガリレイ株式会社 岡山支店 様
匿名 2名

【香典返し】

赤木 啓治 様(岡山市)
匿名 3名

【物品購入助成】

一般社団法人生命保険協会 岡山県協会 様

【平成30年7月豪雨災害義援金】

施設・団体 3件 79,693円
個人 1件 3,628円
総額 83,321円

ご寄付のお申し込みは…

岡山県社会福祉協議会総務企画部
☎086-226-2822
<http://www.fukushiokayama.or.jp/>

令和2年度
岡山県社会福祉協議会 人事異動のお知らせ

異動		令和2年4月1日付	
新所属・職名	氏名	旧所属・職名	
正規職員			
福祉支援部	部長 吉田 光臣	福祉支援部・生活支援班 副部長	
福祉支援部・生活支援班	副部長 石井 慎一	地域福祉部・地域支援班 主幹	
地域福祉部・地域支援班	主査 西原 俊明	総務企画部 主査	
総務企画部	主査 米田 宣和	福祉支援部・福祉人材支援班 主査	
福祉支援部・福祉人材支援班	主任 田口 都	地域福祉部・地域支援班 主任	
地域福祉部・地域支援班	主事 織田 優香	(新規採用)	
福祉支援部・福祉人材支援班	主事 井上 桂子	(新規採用)	

退職		令和2年3月31日付	
氏名	旧所属・職名	備考	
濱 純子	福祉支援部 部長	(定年退職)	
長尾 遥香	福祉支援部 主事	(旧姓：渡部)	



協定締結式の様子

3月28日(土)、倉敷アイビースクエアにおいて、ライオンズクラブ国際協会(336-B地区)との間に、被災地において活動するボランティアに向けた支援を迅速かつ効果的に行うための「災害時におけるボランティア支援に関する協定」を締結しました。

本会では今後も引き続き、災害発生時に備え、あらゆる関係機関との連携のもと、それぞれが持つ役割、能力、特性を生かした被災地支援体制の構築を目指します。

なお、ライオンズクラブ国際協会は、同日、鳥取県社会福祉協議会とも協定締結されました。

ライオンズクラブ国際協会と
災害時支援協定を締結

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください!



労務管理で
困っている

- ・就業規則の見直し
- ・人材育成
- ・人材定着
- ・助成金の活用
- ・セミナー講師
- ・業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社会保険労務士法人

検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中!
メルマガはHPからお申し込みください。

令和2年度 福祉従事者研修計画一覧

今年度の研修計画を掲載しています。開催日程や場所については、都合により変更される場合がありますので、ご注意ください。

【福祉人材支援班】

事業名	開催日	開催場所
キャリアパス対応生涯研修課程【初任者】	A) 5月21・22日 B) 6月9・10日	きらめきプラザ
キャリアパス対応生涯研修課程【中堅職員】	A) 6月25・26日 B) 7月7・8日	きらめきプラザ
キャリアパス対応生涯研修課程【チームリーダー】	A) 7月14・15日 B) 8月4・5日	きらめきプラザ
キャリアパス生涯研修課程【管理職員】	8月26・27日	きらめきプラザ
初任者重点テーマ強化研修	7月29日	きらめきプラザ
中堅職員重点テーマ強化研修	8月25日	きらめきプラザ
チームリーダー重点テーマ強化研修	9月10日	きらめきプラザ
接遇セミナー	5月20日	きらめきプラザ
接遇リーダー研修	A) 5月13日 B) 5月26日	きらめきプラザ
コーチング研修	5月14・21日	きらめきプラザ
クレーム対応研修	9月11日	きらめきプラザ
メンタルヘルス推進担当者研修【基礎コース】【実践コース】	【基礎】11月(2日) 【実践】12月(1日)	きらめきプラザ
会計職員実務研修	7月9日	きらめきプラザ
人事・労務管理実務研修	12月	きらめきプラザ
コミュニティソーシャルワーク研修	9月(2日)	きらめきプラザ
リスクマネジメント研修【新任コース】【総合コース】	【新任】5月19日 【総合】6月19日	きらめきプラザ
新型インフルエンザ等BCP策定支援研修	7月	きらめきプラザ
対人援助技術研修	9月	きらめきプラザ
介護技術向上研修	10月～12月 (2日×3日程)	きらめきプラザ

事業名	開催日	開催場所
介護職員指導技術研修	10月～11月 (2日×2日程)	きらめきプラザ
介護支援専門員実務研修受講試験準備講習会	7月12日・8月8日	きらめきプラザ
キャリアパスを活かした人材マネジメント研修	R3.2月(1日)	きらめきプラザ
介護支援専門員実務・更新(未経験者向け)・再研修	実務 R3年1月～5月(14日間) 更新(未)・再研修 R3年1月～3月(9日間)	岡山市内
認知症介護実践研修(実践者研修)	7月～10月 (6日間×3日程)	きらめきプラザ
認知症対応型サービス事業開設者研修	9月	きらめきプラザ
認知症対応型サービス事業管理者研修	①9月 ②11月 ③R3年2月 (2日間×3日程)	きらめきプラザ
小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	10月(2日間)	きらめきプラザ
認知症介護基礎研修	①6月 ②7月 ③12月(1日×3日程)	きらめきプラザ
福祉人材確保支援セミナー【前期】【後期】	【前期】6月 【後期】12月	きらめきプラザ
福祉の就職総合フェア岡山夏	7月23日・24日・25日	岡山コンベンションセンター
福祉の就職総合フェア岡山冬	R3年2月13日・14日	岡山コンベンションセンター
福祉・介護人材定着支援セミナー	R3年2～3月頃	

●各種看板・サイン・POP・展示装飾・デザイン●

広告美術 企画-製作

美術工房 **ミヨシ**

公益社団法人 全日本広告連盟加盟 岡山広告協会会員

TEL 086-271-4410 (代)
FAX 086-271-4412
〒703-8251 岡山市中区竹田 17-13



お弁当のことなら なんでも ミヨシ

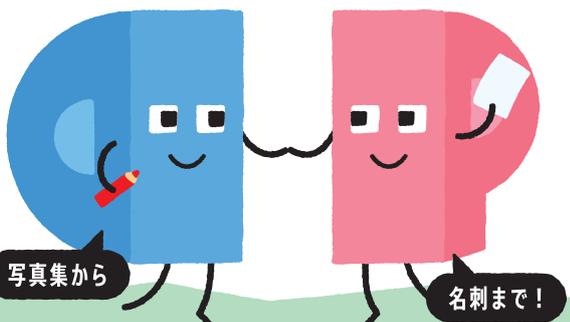
おかやまミヨシ ☎ (086) 200-1717

〒702-8002 岡山市中区桑野131-6

フリーダイヤル ☎ 0120-35-3355

390 Tamagashi, Kita-ku, Okayama-shi

Design & Printing



美術印刷 | 株式会社中野コロタイプ

TEL:086-229-3366 www.nakano-collo.co.jp

さあ、ワクワク探しの旅に出かけよう!



あなたの未来を変える、ステキな旅を。
東武トップツアーズ

TOBU TOP TOURS
岡山支店

〒700-8619 岡山市北区磨屋町10番20号 磨屋町ビル8階
TEL.086-225-1746 FAX.086-224-1645

www.tobutoptours.co.jp



5月12日 済世顧問制度創設日 岡山県民児協県下一斉取り組み

民生委員制度は、大正6（1917）年5月12日、当時の笠井信一岡山県知事の下、岡山県で公布された済世顧問制度から始まりました。

岡山県民生委員児童委員協議会（以下、県民児協）では、この5月12日を岡山県下一斉取り組みの日として設定し、「小中学校等あいさつ運動」を平成30年度より実施しています。今年度も同様に、学校、関係機関や地域の関係者等と連携強化を図り、地域住民でもある民生委員・児童委員が、子どもたちや地域の方と顔見知りになり「身近な大人」として、子どもたちの見守り等を強化することを目的として取り組むこととしています。

5月12日の朝、地域の民生委員・児童委員が小中学校等の校門前に立ち、子どもたちと、元気なあいさつやハイタッチをし、交流を図っています。この取り組みは、岡山県、岡山県警察本部、また県内の警察署とも連携し、市町村・単位民児協ごとに行われ、学校を含めた地域の関係者の方へ民生委員活動について知っていただく良い機会となっています。

その他、福祉施設への訪問や町内会、地域の関係団体等との協働による地域に根ざした取り組みも行っています。民生委員・児童委員は、地域住民の身近な相談相手として、日々活動を続けています。



昨年度（令和元年5月12日）のあいさつ運動の様子

【パネル展】
5月1日（金）～29日（金）、きらめきプラザ3階 岡山県社会福祉協議会 資料室においてパネル展示も開催します。

【問い合わせ先】

岡山県民生委員児童委員協議会事務局（地域福祉部）

TEL 086-22612835

令和2年度

全国200万人
加入!!

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

保険金額・年間保険料（1名あたり）

保険金の種類	プラン		
	基本プラン	天災・地震補償プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円	
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額	6,500円	
	手術 保険金	入院中の手術	65,000円
		外来の手術	32,500円
	通院保険金日額	4,000円	
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	× ○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)	
年間保険料		350円 500円	

団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増引適用

＜基本プランに加入される方へ＞

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険

検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受幹事
保険会社〉 損害保険ジャパン日本興亜株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL: 03 (3349) 5137
受付時間: 平日の9:00～17:00 (土日・祝日、12/31～1/3を除きます。)

損保ジャパン日本興亜は、関係当局の認可等を前提として、2020年4月1日に商号を変更し、「損保ジャパン」になります。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763
営業時間: 平日の9:30～17:30 (12/29～1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

赤い羽根共同募金

岡山県共同募金会

令和元年度の「共同募金運動」ならびに「歳末たすけあい運動」につきましては、県民の皆さまより温かいご支援、ご協力をいただき、誠にありがとうございました。

下記のとおり、令和元年度募金実績をご報告いたします。



— 共同募金運動 —

県内の社会福祉施設や福祉関係団体、各市町村社会福祉協議会やボランティア団体・NPO等の活動費として有効に活用させていただきます。

募金総額 274,306,275 円



— 歳末たすけあい運動 —

県内の福祉関係団体の活動費や障がい者共同作業所の備品整備費、歳末の慰問事業や配食サービスの事業費等に有効に活用させていただきます。

募金総額 63,479,300 円

【内訳】
地域歳末たすけあい 57,398,528円
NHK 歳末たすけあい 6,080,772円

現在申請受付中の助成金一覧

現在本会にて申請を受付している事業は下記の通りです。
※各事業の詳細については本会HP（<http://akaihane-okayama.or.jp/>）をご覧ください。

- ①福祉施設配分
- ②NHK 歳末たすけあい配分
- ③施設整備等助成事業—中央競馬馬主社会福祉財団助成—
- ④赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」（参加団体募集）

平成30年7月豪雨災害について

この度の豪雨災害では県内外から多くの義援金を送金いただいておりますが、岡山県共同募金会に送られてきた義援金総額は下記の通りとなっております。

義援金総額（令和2年2月28日現在） 2,722,068,018円

皆様のご協力で深く感謝申し上げます。
今後も義援金の受付をしておりますので、引き続きご支援いただきますようお願い申し上げます。

ありがとうメッセージ

《 特定非営利活動法人 同舟の園 》

この度、助成金で作業用備品のミシンを整備させていただきました。
おかげさまでミシン作業者さんからは「音が静かになった」「動きが軽いので疲れにくい」などの声が上がリ、他の作業をしている利用者さんも興味を持ってくださるようになりました。
皆様のおかげで利用者さんの作業効率も意欲も向上しました。
コツコツとではありますが、頑張っって良い物を作っていきたいと思っております。
本当にありがとうございました。



災害ボランティア支援

ボランティアさんの一生懸命な姿に
勇気と希望をもらいました



笑顔があふれる業界にしていきたい

特別養護老人ホーム
吉備高原賀陽荘
みずの ゆういち
ケア相談室長 **水野 雄一** さん

「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

20〜25歳までは旅行会社で働いていて、営業や旅行の添乗で、いろいろな会社へ出入りすることが多くありました。特に旅行中は、いつもとは違って人の「本音」が出ることも多い。愚痴みたいなものも耳にすることがよくあって、どの業界も大変なんだなと思いつつながら添乗していました。だけどその中でも、福祉業界の人たちだけは、何か違っていました。アウトホームでチームワークがいい。職場の風通しも良いし、人の温かみがある。裏表がなくて、いい人たちだなあと。自分もそんな心のキレイな人になりたいと思ったのが、転職のきっかけです。

福祉の仕事の魅力はどんなところでですか？

どこの施設も受入を躊躇する

- ◆この職場のいいところは？
利用者のためになることは何でも挑戦をさせてくれるところ。
- ◆好きな言葉は？
チャレンジ。挑戦。やってみる。
- ◆趣味は？
スケボー、スノボー、釣り、読書。ライブへ行くのも好き。新しいことにチャレンジするのが好き。資格マニアでもある。
- ◆今後、どんな「仕事人」になりたい？
福祉の魅力ややりがいを伝えていきたい。これからの福祉をもっと盛り上げたい。

【施設名】特別養護老人ホーム
吉備高原賀陽荘
【住所】加賀郡吉備中央町上竹753
【TEL】0866-54-1290

ような福祉的に困っている方を支援するのが大好きなんです。やりがいを感じるし、現場にも達成感が生まれる。誇りにもなり、さらにそれが技術にもつながると思っています。ひとりの人を、様々な機関が連携し、多職種で支え、支援していく。そのチームプレーが、福祉の仕事の最大の魅力だと思います。

仕事をするうえで大切にしていることは？

自分も楽しく、相手も楽しく、とにかく「楽しく働きたい」と常に思っています。そのためには、利用者ファーストでもあり、職員ファーストでもなければいけない。職員が働きやすい環境を整えていくことも僕の仕事だと思っています。



機関紙「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にももるんじゃーグッズをプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

■ 郵 送：〒700-0807 岡山市北区南方2丁目13-1 きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会 機関紙編集班
■ FAX：086-227-3566 まで

なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

